

プログラムのご紹介

—個別療育—

1 個別療育とは

個別もしくは小集団のプログラムです。子どもの個性や年齢、障害特性に合わせて、アセスメントに基づいて出来ること、芽生えていることを大切に、わかりやすくお伝えしながら、各活動に取り組んで頂きます。療育プログラムで学んだこと、経験したことを実際の生活や将来に向けて活かせるよう、保護者の皆さまとの連携を図りながら、自立に向けて取り組んでいきます。



2 実施曜日・時間

- ・隔週土曜日の実施、定期的かつ継続してご利用頂ける方

		場所	時間	ご利用人数	実施形態
クラス1	A(第1・3週目)	プロップにしのみや	10:30~	3~4	原則個別
	B(第2・4週目)	プロップはんしん	11:30		
クラス2	A(第1・3週目)	プロップにしのみや	13:00~	3	個別 (一部・小集団)
	B(第2・4週目)	プロップはんしん	14:00		
クラス3	A(第1・3週目)	プロップにしのみや	15:15~	3~4	個別 (一部・小集団)
	B(第2・4週目)	プロップはんしん	16:30		

- ・送迎サービス

事業所への送り 保護者様対応 自宅送り 市内の方のみ対応

- ・期間

2~3年(それ以上の期間は要相談)

- ・クラス1・2は主に小学生、クラス3は、小学高学年~高校生まで

3 プログラムの内容

(1) 行動管理

- スケジュール（一人ひとりに理解できる方法でお伝えします）



文字



絵カード



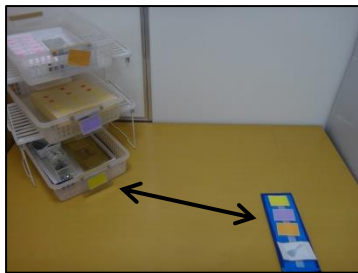
外出用/携帯式

どこですの？何をするの？楽しみはいつある？などを理解してもらい、見通しをもって参加してもらえるようにサポートします。

- 活動の進め方

自閉症の得意な繰り返しに行うことや視覚的な手掛かりを活かして、何を、どれだけ、どうなったら終わりか？を見てわかるように伝え、活動を自立して行えるように致します。

ワークシステム



- ① 上から順番にカードをとって
- ② 左側のカゴのポケットにマッチングをして
- ③ カゴにある課題を取り組みます。
- ④ 3つのカードが無くなったら終わりを意味します。

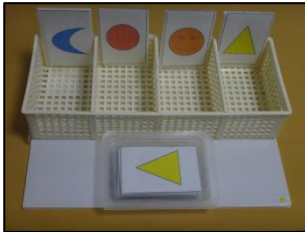
- スタッフとお勉強

初めて行う課題（学習）や芽生えている課題については、スタッフと一緒に勉強を行います。



(2) 学習習慣、学習・職業スキル

個々の子どもに合わせた自立課題や作業課題に取り組んでもらいます。「自分でできる」という達成感を養えるように、課題設定を致します。

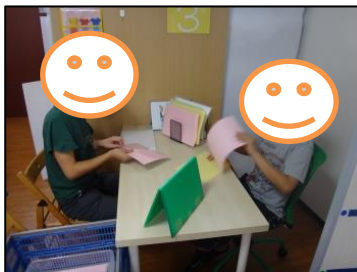


自立課題 一例



300種類以上ある課題から、一人ひとりに合った課題を選択し、

取り組んでもらっています！！



お友だちとの共同作業

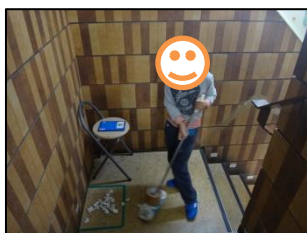


作業体験



(3) 家事活動

視覚的手掛かり（手順書等）を活用し、事業所内での家事活動（机拭き、タオル畳、洗濯干し、食器洗い、掃除、配膳）近隣のお店に出掛けて買い物学習など実生活を想定した活動を行います。



(4) 工作

手順書や見本を確認しながら、個々のお子様の興味関心に合わせて季節の工作作りを行います。シールやドットマーカを使用したり、はさみやのりなど使用しながら取り組んでもらいます。



(5) パソコン学習

エクセル・ワード・パワーポイントの基礎操作、ラインの送信練習、ネット検索（天気予報、時刻表など）、パソコンを使用した事務作業に取り組んでもらいます。



(6) コミュニケーション

相手に向かって自分の思いを伝えられるように、おやつ場面では食べたいおやつを絵カードで要求したり、お勉強の場面では終わったことを報告したり、個々のコミュニケーションスタイルに合わせた方法で取り組みます。

一部のお子様は、進学に伴う面接の練習、パワーポイントを使用したプレゼンの練習、電話を通じた会話のやりとりなども行っています。



(7) クッキング

トッピングをしたり、手順書を確認しながら電子レンジを使用しておやつを作ります。又、将来の生活に向けて調理器具を使用して卵焼き作りをしたり、買い物に出掛けたりして取り組んでいます。



(8) 小グループ活動

小グループでクッキング、ゲームなどの活動を行います。事前に各活動のやり方やルールをわかりやすく伝え、子どもたちの得意なことを活かしながら皆で楽しんで取り組んで頂きます。(ピンゴ、かるた、スゴロクなど)

(9) その他(身だしなみなど)



(10) 実施にあたって

- ・上記(1)～(9)は一例です。個別支援計画に基づいて、個々のプログラムを設定致します。

3 個別療育を受けて

※保護者アンケートの一部抜粋

【保護者様より】

- ・毎回、楽しく通うことが出来ました。(複数の保護者様より)
- ・定期的に子どもが希望するプログラムを取り入れてもらい、楽しくいろんなことが経験できました。(小学部の保護者様より)
- ・絵カードを使用して、スムーズに活動に参加できたり、おやつを選べるようになったりと驚きました。今後、家庭にも定着するかもという期待が持てました。(小学部の保護者様より)
- ・個別療育で実施した家事活動を家でもお手伝いとして取り入れることができました。(小学部の保護者様より)
- ・家では出来ない活動を行ってもらい、新たな発見がありました。(中学部の保護者様より)
- ・個別療育で安心して過ごせるようになったため、現在は集団療育でもスケジュールを活用して過ごせるようになりました。(中学部の保護者様より)
- ・将来の進路に向けて、さまざまな課題やお仕事の体験が出来ました。(高等部の保護者様より)

- 将来の社会生活を視野に、本人のペースで支援してくれて、自信を持って取り組めるようになりました。（高等部の保護者様より）

以 上